

さいたまマック15周年感謝の集い ～ 人間らしく生きる ～

日時:2016年6月12日(日) 9:30～15:35

会場:さいたま市産業文化センター

いつの頃から、思い通りに生きていくことができなくなっていた。

生きることの孤独に苛まれ、私みたいな人間が生きていてもよいのか？と、人としての根源的な苦悩に覆われていた。肉体的には生きていても社会的には死に瀕し、スピリチュアリティ(人間性:自分を大切にし、将来の希望が描ける・他人に対して思いやる心・他人を信頼し誠実に向き合える心)は崩れ、人間らしく生きることができなくなっていた。生きることのすべてがアルコールを中心に回っていた。

このような生き方をしていたアルコール依存症者が、生き方の方向性を変え、どのように回復の道を歩み、人間らしい生き方ができるようになっていったのか・・・マックプログラムを修了し、回復への道を歩み続ける回復者本人がその過程を語ります。

アルコール依存症回復支援施設である『地域活動支援センター・さいたまマック』が地域社会に送る回復への希望のメッセージ！

『回復』、それは飲まないだけではなく、生き方を変え人間性を育むこと。

<相談コーナーの設置>

アルコール問題で悩み苦しんでいる本人や家族の相談をお受けするコーナーを設けます。

主催 NPO法人さいたまマック
さいたま市見沼区東新井 710-33 鎌倉ハイツ 1 階
☎ 048-685-7733

埼玉県自殺対策強化事業費補助事業

プログラム

- 09 : 30 開場
- 09 : 45～09 : 55 開会挨拶（NPO 法人さいたまマック代表理事）
- 10 : 00～11 : 00 マックプログラム修了者の話
かつてどのような状況で、何が起こっていたのか？
どのようにして回復への機会に出会い、
人間らしく生きられると感じることができたのか？
そして、マックプログラムに触れて、
今、どのように「平安・生・いのち」を享受しているのか。
- 11 : 00～12 : 00 関係者の話
- 12 : 00～13 : 00 休憩（昼食は各自ご用意下さい）
- 13 : 00～13 : 10 お知らせ（さいたまマック後援会）
- 13 : 15～13 : 40 回復への歌声：合唱（さいたまマック合唱団）
- 13 : 45～14 : 05 マックプログラム修了者の話
- 14 : 05～14 : 25 休憩
- 14 : 25～14 : 55 理事会からの報告
- 15 : 00～15 : 30 一言メッセージ
- 15 : 30～15 : 35 閉会挨拶（実行委員会委員長）

<通所者が残した言葉から>

マックに来て、
皆から人として信じられ、
自分の責任を自覚する。
そして、
無条件で信じてくれたことに感謝。

※プログラムは変更になる場合があります。

